

外国人よろず相談「教育相談会」Q&A（平成30年5月26日）

Q1	子どもを塾に通わせているけれど、いまいち成績が伸びません。このまま通わせるべきなのか悩んでいます。	A1	塾が合っていない可能性があります。1つの塾だけでなく、いろいろな先生や塾を試して合う所を探してください。また、学業不振の原因が日本語能力にある場合もあります。一度、同じようなルーツを持つ子どもたちと一緒に勉強してみてもいいかもしれません。
Q2	子どもが母国の小学校を卒業したら日本に呼び寄せたいと考えていますが、日本語が全くわからないため心配です。	A2	いきなり一般の中学校に転入するのは、勉強についていけなくなるケースが多いです。学年を一つ下げて小学校6年生に編入し、ゆっくり日本の生活に慣れていくことをおすすめします。もしくは、外国人枠がある学校（県立芦屋国際中等教育学校）に編入できる場合もあります（HPで欠員募集の要確認）。また、指定小学校以外の外国人の生徒が多い近隣の学校に通うのも可能です。（教育委員会に要相談）
Q3	日本の学校の受験制度について教えてください。	A3	一般的に公立の小学校と中学校は入学試験がありません。高校の入学は入学試験を受けなければいけません。住んでいる所（学区）で受けられる高校が決まっています。私立高校の入試は2月からです。公立高校は2月と3月の2回です。自国等で小中学校9年の学習が終了していれば、日本では、私立や公立高校の入学試験を受けることができます（証明書が必要）。 ※詳しい内容は文部科学省や兵庫県教育委員会「子ども多文化共生センター」のホームページで確認できます。 ・外国人児童生徒のための就学ガイドブック(7か国語) http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1320860.htm ・就学支援ガイドブック(11か国語) http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/ukeire/ukeire(shoki).html ・あなたは、どの高校を選びますか？(11か国語) http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/ukeire/donokoukou.html
Q4	公立と私立では、どちらへ進学させる方がいいですか？	A4	日本の学校の場合、私立学校の方が教育水準が高くカリキュラムが優れているというわけではありません。また、私立学校は学校によりそれぞれ特色があるため、お子さんに合った学校を見つけることが大切です。
Q5	子どもの性格がむずかしいため、他の子どもたちと一緒に学校生活を過ごせるかどうか心配しています。	A5	担任の先生や教育委員会、福祉関係者と相談してみてください。必要であれば、子育てのアドバイスや、専門家のサポートを受けられる場合があります。